

競技かるたを、もっと多くの人に。

知立市出身 競技かるた名人

川瀬 将義さん

知立市出身で、競技かるたのトップ選手として活躍する川瀬将義さん。競技かるたを始めたきっかけや、競技かるたの魅力、そして今後の夢や目標を伺いました。

お気に入りの一首

せをはやみ
いはにせかるる
たきがはの
われてもすゑに
あはむとぞおもふ

崇徳院

かわせ まさよし
川瀬 将義

- ・知立市出身
- ・4歳で競技かるたを始める
- ・第68～70、72期名人位
(（一社）全日本かるた協会)
- ・2025年知立文化芸術新人賞受賞



—— 競技かるたを始めたきっかけを教えてください。

競技かるたは4歳から始めました。

3歳のとき、家族で百人一首の「坊主めくり」をしていたところ、母が何気なく読み上げた一首に私が反応したそうです。「これは？これは？」と私が何度も聞くので、母から「全部読み上げるのは大変だから覚えなさい。」と言われ、覚え始めたのがきっかけです。

—— 競技かるたの魅力はどんなところですか。

読みを聞いて音を捉え、札を反射的に取るリズムゲームのようなところと、札の配置を考え、相手の様子を見ながら駆け引きをする戦略ゲームのようなところ。この二つがうまく組み合わさっているのが、面白さだと思います。



▲札を取る一瞬の速さは、カメラにも収まらないほど

— 競技かるたを続ける中で、大切にしている考え方を教えてください。

とにかく楽しむことです。

そして、競技かるたは本当に細かなことの積み重ねなので、一つ一つ積み重ね、過去の経験を生かしながら、少しずつ成長していくことを大切にしています。

— 試合で負けてしまったときはどのように気持ちを切り替えていますか。

負けるということには、必ず原因があります。大体の課題には対処法があるので、あとは、それを「やるかやらないか。」そう考えているので、あまり落ち込むことはありません。

— 川瀬さんから見た、知立市の魅力はどんなところだと感じていますか。

歴史があり、文化になじみがあるところです。子どもたちに知立の文化を継承しながら、さらに知立を盛り上げていきたいと思っています。知立ならではの魅力を、もっと多くの人に伝えていけるのではないかと考えています。

— 最後に、今後の夢や目標を教えてください。

競技かるたをもっと大きくしていきたいです。

具体的には「プロ化」を目指しています。もっと多くの
人に試合を観て楽しんでもらい、選手にスポンサーが
つくような世界を作れたらと思っています。